

本日（2021年4月1日）、当社は創立50周年を迎えました。

新型コロナウイルス禍に苦しんでいる方々には心よりお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルスに立ち向かっておられる医療従事者の方々には深く感謝申し上げます。

当社は、1971年（昭和46年）4月1日の株式会社住友倉庫が建設したボーリング場（後に廃業）の運営を事業目的とする住倉興産株式会社の設立を創立の日としております。その後、1987年（昭和62年）7月に東京住友ツインビルディング東館の管理を事業目的とする東京住倉興産株式会社が設立されました。2008年（平成20年）4月には住倉興産株式会社が東京住倉興産株式会社を吸収合併し、その主力事業も建物管理業務へと変遷したことから2015年（平成27年）4月に社名を住倉興産株式会社から住倉建物サービス株式会社に変更しました。事業も建物総合管理、駐車場の経営、総合リース業、流通加工業（現在は取扱い無し）などを中心に拡大し、営業地域も阪神及び首都圏へと広がっております。



この間に様々な苦難に遭遇しましたが、当社に今日があるのはその度に持てる力を結集し、勇気を持って困難を乗り越え、新たな事業に挑戦して来られた従業員、経営者の諸先輩方のお力によるものであります。これに思いを馳せるとき、私たちは諸先輩方に大いなる感謝と尊敬の念を表します。

当社が半世紀に亘り事業を継続できたことは、何よりも住友倉庫様を始めとする顧客各社様、顧客各個人様のお引き立てがあつてこそこのことと深く感謝申し上げます。

また、当社にご協力を頂きました取引先各社様のご尽力にも深く感謝申し上げます。

当社は100年企業を目指し、これからも建物総合管理や総合リース事業を中心とした住友倉庫グループへの貢献を柱に、駐車場賃貸や収納ルーム賃貸などの不動産関連事業を通じて社会に貢献して参ります。

建物・施設管理業務においては、ビルメンテナンス業務（BM）からリーシングや施設保全、マーケティングまで含めたプロパティマネジメント業務（PM）への業容の発展を図り、リース業務においては車両以外の取扱い品目への拡大や住友倉庫グループ外への拡大により、加えて新規事業への取組みにより当社の自立性を高めて、広く社会に貢献することを目指します。

私たちは従業員、経営者が一丸となり当社事業において常に安全安心を第一に、快適性や利便性を向上させた各種サービスを提供できるよう努めて参ります。

どうぞこれからも当社をよろしく願いいたします。

2021年（令和3年）4月1日  
住倉建物サービス株式会社

社長 竹内規

#### 沿革

1971年（昭和46年）	4月	住倉興産株式会社設立
	11月	ボール120運営開始（ボーリング場＝大阪市西区）
1978年（昭和53年）	8月	西道頓堀モータープール営業開始（駐車場＝大阪市西区）
1979年（昭和54年）	9月	川口住倉ビルディング管理開始（大阪市西区）
1981年（昭和56年）	8月	なんばスミソウビル管理開始（大阪市西区）
1982年（昭和57年）	4月	平和島住倉ビルディング管理開始（東京都大田区）
1983年（昭和58年）	11月	なんばSSビル管理開始（大阪市西区）
1987年（昭和62年）	7月	東京住倉興産株式会社設立
1988年（昭和63年）	2月	東京住友ツインビルディング東館管理開始（東京都中央区）
1990年（平成2年）	10月	事務機器リース営業開始（住友倉庫京浜店部）
1994年（平成6年）	8月	流通加工業務開始（住友倉庫東京支店）
1997年（平成9年）	8月	収納ルーム営業開始（横浜市中区）
2001年（平成13年）	11月	T-PLAZ管理開始（横浜市港北区）
2006年（平成18年）	5月	車両リース取扱開始（井住運送東京支店）
2008年（平成20年）	4月	住倉興産株式会社と東京住倉興産株式会社が合併社名を住倉興産株式会社とする
2011年（平成23年）	8月	港北住倉ビルディング管理開始（横浜市都筑区）
2015年（平成27年）	4月	住倉建物サービス株式会社に社名変更
2016年（平成28年）	5月	T-FRONT管理開始（埼玉県戸田市）
2018年（平成30年）	4月	江坂マンションのサブリース業務開始（賃貸マンション＝大阪府吹田市）